

やしおの水道について知ろう!

これまで、水道部では井戸水などを飲めるように処理してから、配水管で各家庭に送り届けていることを学びました。

今回は水道水を送るときにどのようなお金がかかるのかを勉強していきましょう。



水道水が僕たちの家に来るまでに、お金がかかっていることはわかったけど、お金の使い道はどうなっているのかな。

配水管や配水ポンプなどを入れ替えるときにはたくさんのお金がかかります。また、その他の主な使い道としては、埼玉県から水を買う代金(5億3,377万円)や電力費・修繕費(9,767万円)、借りたお金の返済(2億6,497万円)、職員の人件費(1億8,904万円)などがあります。
(2ページの決算資料を参照)



以前、道路の下に配水管がたくさん通っているって勉強したよ。それらの管を新しく入れ替えたりするのにお金がかかるんだね。

そうですね。水道施設は一度つくれば終わりというものではなく、一定期間を過ぎたら入れ替える必要があります。それに電気代や材料代も高くなってきていて、使うお金の総額は毎年増えてきています。



第6回

水道水をつくる時、送るときにはお金がかかるの?



そうなんだ…。これからも安心して水を飲めるようにするためには、いろいろなところにお金を使っていかないといけないだね。



そのとおり。私たちは、入ってくるお金と出ていくお金を長期的に想定して、適切にお金を使っていく必要があります。



そういえば、入ってくるお金の話はまだ聞いていないね。お金はどこから入ってくるの?足りなくなったりしてない?

時間が来てしまったのでその話はまた今度説明しますね。楽しみに!



【お問い合わせ】経営課経営総務担当